

提案

日付：2023/06/02

件名：安全性向上を目指すためにAEDの導入を提案します

1. 問題、課題

現状、小谷地区にはAEDがほとんどないため、緊急時にAEDが手に入らず、救命処置に遅れが生じる可能性があります。

子どもを含む地域住民の安全性が懸念されます。

2. 改善案

税金を活用し、小谷地区のさまざまな場所にAEDを設置することを提案します。

具体的には、公民館や公園など、人々が集まる場所、かつ夜間でも利用できるにAEDを設けることで、救命処置へのアクセスを容易にすることができます。

また、海老名市の事例として、ゴミ収集車にAEDを搭載することも考慮してみる価値があります。ゴミ収集車は地域全体をカバーできるため、迅速な救命処置が可能となります。

3. 改善後の効果

AEDの設置により、小谷地区や寒川町全体の住民が緊急時に迅速かつ効果的な救命処置を受けることができます。

子どもの命を守るだけでなく、地域全体の安心感と安全性が向上するでしょう。

ゴミ収集車にAEDを搭載することで、さらなる迅速な救命処置が可能となります。

回答

<安全性向上を目指すためにAEDの導入を提案します>

【所管：町民協働課、産業振興課、環境課、都市計画課】

○公民館（地域集会所）への設置について

【所管：町民協働課】

小谷地域集会所（小谷1-13-10）については、令和2年4月1日にAEDを設置いたしました。

地域集会所は常時開館している施設ではないため、ご利用いただいている時間内でのAEDの活用になります。なお、地域集会所の利用については、指定管理者制度により小谷自治会長にて管理をさせていただいております。

○人々が集まる場所（民間企業）への設置について

【所管：産業振興課】

AEDの設置は、一般財団法人日本救急医療財団が作成しております「AEDの適正配置に関するガイドライン」によりますと、50歳以上の社員が250名以上働く場所や施設にはAEDを設置することが望ましい」とされております。

AEDの設置数が増えることで安全性の向上に寄与するものと考えられますが、法的に義務化されていない現状におきまして、民間企業への働きかけについては難しい状況にございます。

産業振興課といたしましては、国等の動向を踏まえ依頼がございましたら周知等を図ってまいりたいと考えております。

○ごみ収集車へのAED搭載について

【所管：環境課】

海老名市の場合、委託車両を除く市直営のごみ収集車6台にAEDを搭載し、乗車する市職員については普通救命講習を受講したとのことです。また、委託も含め海老名市で運行しているごみ収集車には、運行用のGPS端末が設置されているため収集車両の位置情報が共有でき、AED未搭載車が救命現場に遭遇した場合にも迅速な応援要請ができるようです。

町ではGPSによる位置情報の共有ができないことに加え、全ての収集業務が民間への委託であることから今後の検討課題とさせていただきます。

したがいまして、現状ではAEDの設置等は他の公共関係といたした方が有効と考えますので、ご理解いただければと存じます。

○公園への設置について

【所管：都市計画課】

公園はオープンスペースであり、多くの人が集まりやすい場所ではありますが、屋外となりますので直射日光や気象の影響が大きく、屋内への設置と比べて費用が高額となります。

現時点における周辺地域への配置状況を鑑みながら、他の施設等への設置も含めて検討してまいります。